

原爆と たたかい続けて

東京の原爆症認定訴訟

「原爆とたたかい続けて」編集委員会 [編]

本書「あとがき」より

ノーモア・ヒバクシャ東京訴訟は、1945年8月6日と9日にアメリカが投下した原子爆弾の非人道性を、原爆放射線の人体影響を通して明らかにしようとする裁判です。原告らは、「あの日」をそれぞれに体験し、さらに戦後を被爆者として生き抜きながら、数十年の時を経てさまざまな重い病気を発症し、それらが原爆放射線によるものであると認定されることを求めています。

訴訟では原告全員1人も残さず自庁取消か勝訴判決によって原爆症と認定される、という大きな成果を達成しました。しかし、今なお、非がん疾患を中心に、被爆の実相とは乖離した認定行政が続けられています。世界の心ある人々の努力によって核兵器禁止条約が締結されたこの時代に、唯一の戦争被爆国である日本では、被爆者が原爆被害を否定され、戦後の人生を否定される、そんなことが許されるはずがありません。

1人でも多くの皆さまにこの記録集をお読みいただき、核兵器廃絶と被爆者援護、原爆体験の継承について語り合い、行動していきたいと思えます。



目次

巻頭言／山本英典 はじめに／内藤雅義

第1章 ノーモア・ヒバクシャ訴訟について

ノーモア・ヒバクシャ訴訟とは／宮原哲朗、原爆裁判における医学論争について／齋藤紀、コラム「確認書締結の裏側」／安原幸彦

第2章 法廷を圧した被爆者の証言

小杉正毅さん／森孝博、田崎アイ子さん／内藤雅義、笹尾光生さん／芝田佳宜、坂本治子さん／坂田洋介、高石洋一さん／高橋右京、中島 省吾さん／金井知明

第3章 ノーモア・ヒバクシャ東京訴訟の経過

(1) 主な経過／内藤雅義 (2) 個別立証／小海範亮 (3) 専門家証人(心筋梗塞／森孝博、脳梗塞／金井知明、甲状腺機能亢進症／芝田佳宜、他原因論／坂田洋介) (4) 医師団の活躍(ノーモア・ヒバクシャ訴訟を振り返って／聞問元、原爆医療訴訟東京高裁・控訴審をたたかって／眞鍋穰、ノーモア・ヒバクシャ訴訟にかかわって／向山新、山本英典さんの残したもの／園田久子、原爆症認定訴訟と被爆体験者訴訟／本田孝也、急性冠症候群に関係意見書／山田秀樹)

第4章 東京の被爆者再び燃える

ノーモア・ヒバクシャ訴訟を振り返って／大岩孝平、「ノーモア・ヒバクシャ訴訟」東京訴訟を終えて／家島昌志、東京の被爆者 大奮闘・支援の輪／綿平敬三、原告全員の勝利を勝ちとって／村田未知子

あとがき／中川重徳

資料／原告一覧、弁護団名簿、訴訟の経過

〔頒価〕 1冊 1,200円 (著者割引で 1,000円)

〔送料〕 1~4冊は 300円、5冊以上は無料

注文先 一般社団法人 東友会

FAX

03-5842-5653

E-mail アドレス

t-hibaku@gaea.ocn.ne.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-4 電話 03-5842-5655

「原爆とたたかい続けて」を 冊注文します。

注文書

ご注文者氏名または団体名

〒

送り先

お電話